

平成 28 年度 事業計画

公益財団法人あすては、前身である勤労センター憩の家の昭和 41 年設立以来、常によりよい社会を目指して活動してまいりました。平成 28 年度は、ちょうど 50 周年の節目の年度となり、また 5 年ごとに見直してまいりました、中期ビジョンの新たな 5 年の始まりの年度ともなります。よりよい社会を目指すことはみんなが笑顔になるようにすることと考え、「行動しよう！笑顔のために」を新しいスローガンとして掲げ、「地域」「世界」「未来」を笑顔にするための事業を発信していきます。

公益目的事業

(1) 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

1 研修事業

- ① ボランティアの研修や交流を目的に、気軽にボランティア同士が意見交換ができる場として「輪になって語り合おう」を不定期で開催いたします。
- ② 年度の活動開始日である 4 月 2 日には、あすて登録者が一堂に会し、1 年間のあすての事業概要を確認する「はじめの会」を開催いたします。

2 広報事業

- ① 12 月 11 日はあすての設立 50 周年記念日となります。50 年を振り返り、新たな 50 年を目指すために、賛助企業や日頃ご支援をいただいている関係団体をお招きし、設立 50 周年記念式典ともなる「あすての日」を開催し、登録者とともに祝います。また、その関連事業として、50 周年記念誌の発行、「肩書きを外しましょう」ダイジェスト版の改訂版を発行いたします。
- ② その他、広くあすての事業を内外に発信するために、リーフレットの製作、つうしんむすびの発行、ホームページの運用、館内掲示などの「広報」を展開し、写真や報告書などで日々の活動を「記録」します。

(2) 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

1 ものづくり事業

- ① 企業などから協賛を得て、間伐材から木工製品を作り、福祉施設などに寄贈する事業「森のプレゼント」を、グループとともに進めてまいります。
- ② 50周年記念事業として、豊田市の間伐材を利用した原寸大の初代カローラを製作するプロジェクト「初代カローラの間伐材でつくるプロジェクト」をイベント開催も交え、多くの企業や団体、市民に協力してもらいながら進めてまいります。

2 環境事業

- ① あすて地球緑化プロジェクトとして、「砂漠化防止のための中国植林活動」を、4月27日～5月1日の日程で、中国内蒙古自治区の砂漠地帯でアイシングループの協力を得ながら実施いたします。
- ② 竹林整備と竹炭づくりなど、竹を地域資源として活用し環境保全につなげる活動「竹守り」をグループとともに進めます。
- ③ 4Sやポットラックガーデンなどの「美化活動」もグループ主体で進めてまいります。

3 福祉事業

- ① 少子高齢化社会を見据え、高齢者がいつまでも元気に過ごせる為のトレーニング及び社会から孤立しがちな子育て中のお母さんたちを支援する「人的支援活動」を新たにはじめます。
- ② 「ジオラマ」を活用して地域の子どもたちに笑顔になってもらいます。
- ③ 「募金・収集ボランティア」として、災害支援など必要に応じた募金・収集活動に加え、ミニバザー、らんち&カフェ、チャリティーコンサートなどのチャリティー活動を行ってまいります。

4 グループ支援事業

- ① グループに対し、「活動場所の提供」や、「相談対応・指導」などを行い、グループが円滑にボランティア活動ができるよう支援を行っていきます。

(3) 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び 外国人支援に関する事業

1 国際交流事業

- ① グループが主体となって、国際理解を目的とした「文化交流」を行います。
- ② 外国人に豊田市の魅力を発見し、好きになってもらうためのツアー「いいところ発見ツアー」を年 10 回程度を目標に開催いたします。

2 国際協力事業

- ① 「チャレンジアジア」を通してカンボジアの教育環境改善に取り組んできた青年達が主体となって、新たなカンボジア支援の活動として水質浄化のための浄水器製作に取り組みます。
- ② 「難民支援」として、国際協力に従事する団体が一堂に会し、世界の難民や途上国の現状を知ってもらうためのイベント「(仮称) 国際協力フェスタ」を 7 月 10 日に開催いたします。

3 多文化共生事業

- ① とよた日本語学習支援システムによる「たのしいにほんご」をはじめとした日本語教室を年間を通して実施いたします。

(4) 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

1 青少年支援事業

- ① クルマづくりを通して、青少年にもものづくりの苦勞ややりがい、楽しさ、達成感などものをつくる心を育むとともに、ものづくりに関心の高い青少年が、より専門的な技術を匠から学び、次代を担う人材に育成することを目的とした「クルマづくり究めるプロジェクト」を、本年度も多くの企業の協力を得ながら豊田市とともに進めます。
- ② 豊田市の若手男性保育師が中心となって進めている父親の子育て支援事業「パパレンジャー」を共にすすめます。
- ③ 新しい企画の受け入れ「ブラックボックス」として、青少年の斬新な発想と挑戦による社会貢献事業を積極的に推進します。
- ④ 「青少年に対する相談対応・指導」を行ってまいります。

その他

ボランティア研修メニューの提供など、賛助企業の要望による「企業研修の受入れ」を行います。また、行政、企業、関係団体などと連携し、より多くの県民の皆様にボランティア活動を展開するための「他団体との共働・協力・共催」事業を積極的に推進してまいります。